

宮城県工業高等学校 [全日制課程 (情報技術科)]

☆ スクール・ミッション (社会的役割等)

宮城県工業高等学校は、「誠実、節度、創造」を校訓とし、県内の工業教育を牽引する工業高校として、確かな学力と高い専門性を習得させるとともに、グローバル化が一層進展する社会や超スマート社会 (Society5.0) に対応するために必要な資質・能力を育成します。“もの (技術) づくり, ひと (人材) づくり, ゆめ (未来) づくり” をキャッチフレーズに、グローバルな視野を持ち、ものづくり産業で活躍できる人材を育成することで、地域社会に貢献する学校を目指します。

★ スクール・ポリシー (三つの方針)

1 グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)

- 礼儀正しく、何事にも真心をもって、根気強く主体的に取り組む姿勢を育成します。
＜誠実な生徒＞
- 自らの行動に責任をもち、思いやりと協調性をもって活躍する資質を育成します。
＜節度ある生徒＞
- 高い志と向上心をもち、意欲的に課題解決と自己の確立に努める能力を育成します。
＜創造的な生徒＞

2 カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

- 普通科目と工業科目を両輪とした確かな学力を育成します。
→普通科目では工業科目を学ぶ上で核となる基礎力を、工業科目では技術の進展に対応した実践的な知識と技術を養います。
- 地域と協働した学びや教科横断的な学びをもとに、探究的な学びへとつなげていきます。
→みやぎクラフトマン 21 事業を通じて、大学や産業界と協働しながら教科横断的な学習に取り組み、各工業分野が抱える課題を自ら設定し、習得した知識と技術をもとに解決する方法を模索します。
- 各学科の特色ある学びや多様な選択科目を通じて、個に応じた学びを実現します。
→「県工スタンダードABC」に定めた指標を基に、個に対する学習支援を段階的に行い、各学科の専門的な知識・技術の習得に主体的に取り組めるようにします。

3 アドミッション・ポリシー (入学者の受入れに関する方針)

- コンピュータシステムの設計・開発やコンピュータを利用する分野に興味・関心があり、学習活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣が身に付いており、何事にも真剣に取り組む、日々の学習を大事にする生徒
- 自己の進路実現のために継続的に努力できる生徒
- 日頃の学習に併せて情報技術科の専門性を生かした資格取得や特別活動にも積極的に取り組む生徒
- 部活動、特別活動、校外活動等で優れた能力や顕著な実績がある生徒
- 部活動や特別活動等でのリーダーの経験がある生徒